

丘の上の学舎

～若い芽・強い木・愛の花～



令和8年2月27日

「ともに、一歩踏み出す勇気を」

教頭 立岡 里香



ミラノ・コルチア2026冬季オリンピックが、つい先日(22日)まで開催されていきました。皆さんもテレビ視聴を通して日本選手の応援をされたのではないのでしょうか。選手たちは、自身の結果に様々な表情をしたり発言したりして、そこに至るまでに私たちに計り知れない努力をしてきたのだらうと想像しました。どの選手にも共通していると感じたキーワードが、「気持ちの切替」「諦めない気持ち」「周りの人への感謝」でした。これはスポーツに限らず、人が前向きに生きていく上での大事な心の持ち方だなど、とても参考になりました。

さて、3月1日(日)、高等部3年生12名が卒業を迎えます。長いようで短い学校生活が終わり、いよいよ社会へ旅立つときです。社会生活では、これまでとまた違う困難もあるかもしれません。そのようなときは、「気持ちを切り替え」て「諦めない気持ち」をもち、前向きに乗り越えてほしいと思います。「周りの人への感謝」も忘れずに。また、私たちや皆さんの周囲の方は、いつまでも皆さんの応援者であることを覚えていてください。TEAM JAPANのスローガンから～「応援するココロは、きっと届く。夢の舞台へ向かうアスリート(生徒)たちへ一つ一つの結び目に込めた想いが、挑む人の背中をそっと押してくれる。つなぐ想いが、未来を動かす力になっていく。『ともに、一歩踏み出す勇気を』」～。

ご卒業おめでとうございます。

12名の皆さんの未来に
多くの幸あれ!!



令和7年度 第2回学校評議員会

2月19日(木)、第2回学校評議員会を開催しました。4名の評議員様にご参加いただき、今年度の学校評価結果の分析と今後の方向性について協議を行いました。ご助言の一部を紹介します。

★特別支援学校で一番大切なのは、「安全」といろいろな子供たちに合った「進路保障」だと思います。そのために重要なのは、自立活動の指導なので、研修などを通して更に専門性を高めてもらえればと思います。

★学校に来ると、子供たちや先生たちが明るく迎えてくださるのでうれしいです。学校が新しくなりハード面の充実もあると思いますが、ソフト面も充実しているのは先生方の力だと思います。

★B型事業所が増えていますが、利用者がおらず休止する事業所も増えています。福祉の立場として、生活介護事業所も含めQOLの視点で学校と情報を共有できればと思います。保護者にtetoru(テトル)で随時進路の情報を発信する取組は良いと思います。訪問教育の在宅生の進路についても、学校と一緒に考えていきたいと思っています。

表彰おめでとう!

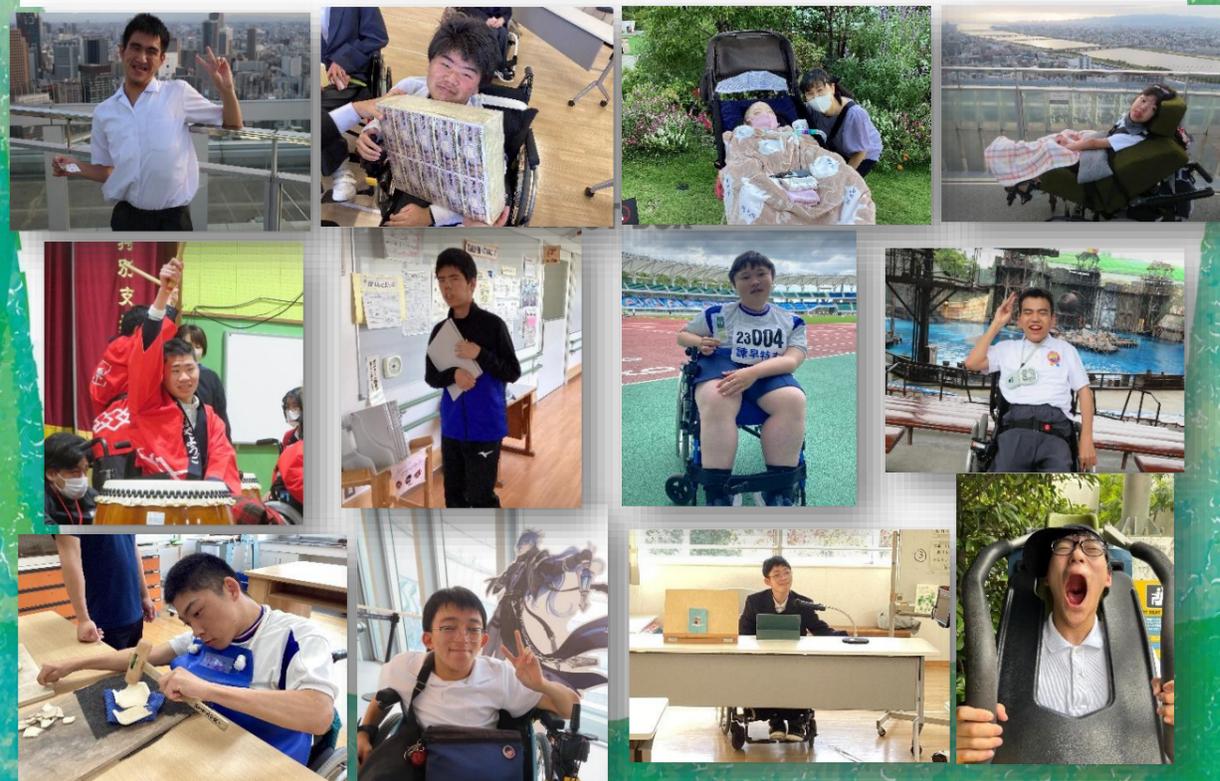
★ 長崎県教育委員会表彰 高等部2年 酒井紅葉

★ 長崎県教育委員会表彰 高等部3年 坪井 俊



今月の輝き face - 高等部3年生 -

高等部3年間の思い出は数えきれないほどたくさんあります。勉強、毎日の係活動、校外学習、修学旅行、社会体験実習、体育祭、文化祭、生徒会、同好会(ポッチャ、和太鼓)、障害者スポーツ大会、外部でのポッチャ大会、ピブリオバトル、寄宿舎生活...。どれも一生懸命に取り組みました。特に友達や先生たちと行った修学旅行は、とても楽しくて素敵な思い出になりました。全ての思い出において、いつもそばにいたのは素晴らしい友達や先生方です。この学校で皆さんに出会えたことに感謝し、思い出を胸にこれからも頑張ります!



全国学校給食週間(1/26~1/30)

毎年1月最終週は全国学校給食週間です。本校の栄養士である齋藤先生は、いつも子供たちのために様々な工夫を凝らした給食を提供して下さいます。子供も(先生たちも)、毎日給食を楽しみながら学校生活を送っています。1月29日(木)、学部ごとに毎年恒例の給食感謝会を行いました。調理で使う大きな炊飯器やしゃもじを実際に見たり、触れたりして調理員さんの仕事の大変さに気付くことができました。最後は給食に関わるすべての方々に児童生徒から手作りの感謝状を贈り、感謝の気持ちを伝えました。これからも美味しい給食をよろしくお祈りします!

